新潟大学大学院現代社会文化研究科（博士後期課程）
2027 年 3 月修了に向けた学位論文審査出願要項

2027 年 3 月修了に向けた博士後期課程の学位論文審査について、出願を受け付けますので、学位論文の審査及び最終試験を受けようとする者は、以下のとおり出願してください。

1　出願手続について

(1)　出願資格

既に学位論文提出資格審査を受け、「学位論文提出資格者（Ph.D. Candidate）」として認定された者

(2)　出願期間

2027 年 1 月 4 日（月）～1 月 6 日（水）16 時 00 分【厳守】

※期限後の出願は一切受理しませんので、ご了承願います

(3)　出願方法

上記期間中に、出願書類を「(4) 出願書類の提出先」に記載のフォームから提出してください。

出願にあたっては、必ず事前に履修指導委員会（主指導教員 1 名、副指導教員 2 名）に連絡のうえ、出願許可を得てください。なお、提出状況についてはご自身で問題がないことをご確認ください。

出願書類の確認後、在籍番号のメールアドレス宛に受理報告の連絡を行いますが、確認に 2 営業日程度要する場合があります。

※提出から 2 営業日経過前に窓口・電話等での受理確認はご遠慮願います（対応いたしません）。

(4)　出願書類の提出先（Microsoft アカウントでサインイン）

提出用フォーム：https://forms.cloud.microsoft/r/QQfkPuVztH

ユーザ ID：在籍番号@niigata-u.ac.jp　（例：z12j345a@niigata-u.ac.jp）

パスワード：初回は学生証に記載の初期パスワード（2 回目以降は自身で設定したもの）

(5)　出願書類

- □　論文審査出願書（別記様式第 1 号）
- □　履歴書（別記様式第 2 号）
- □　学位論文（別紙を参照のうえ作成）
- □　学位論文の要旨（別紙を参照のうえ作成）
- □　参考論文目録（別記様式第 3 号）
- □　参考論文（3 編以上・PDF 形式）
- □　博士論文公表申請書

※参考論文とは、学位論文の基礎となる単著若しくは共著の論文又はその他審査の参考となるもので、学術雑誌に公表されたもの又は公表予定のものとする。**（公表予定のものについては掲載確定を確認できる証明書等を添付すること）**

共同研究あるいは共著である場合には、自己の執筆担当部分を明記するものとする。

上記書類に不備不足がある場合は、出願を認めませんので、注意してください。
また、書類の氏名欄は、すべて学務情報システムに登録されている（学生証と同一の）表記とし、留学生はアルファベットの大文字・小文字に注意してください。

2　最終試験について

【実施期間】2027 年 1 月 18 日（月）～1 月 29 日（金）
上記期間中に口頭試問による最終試験を実施します。実施日時・実施方法等については、各自で学位論文審査委員会の主査となる教員（主指導教員）と連絡・調整してください。

3　審査結果の発表について

審査結果は、2027 年 3 月 8 日（月）17 時に、学務情報システム個別連絡通知にて発表します。
なお、審査に合格した学生（修了予定者）は、製本・公表に用いる学位論文の最終稿の提出等の手続きを行う必要があります。別途お知らせする「修了予定者の必要手続きについて」を参照のうえ、必ず期限までに必要な手続きを行ってください。

4　修了式について

修了式（学位記授与式）は 2027 年 3 月 23 日（火）に予定されています。
詳細は本学のホームページから随時ご確認ください。

5　博士論文のインターネット公表について

博士の学位を授与された者は、博士論文を印刷公表することに代えて、「新潟大学学術リポジトリ」によりインターネット公表することとなりますので、別添資料を確認のうえ、「博士論文公表申請書（別紙１）」を提出してください。
なお、「やむを得ない理由」により、全文に代え、内容の要約（学位論文の要旨）の公表を希望する場合、本研究科教授会代議員会にて審議・承認のうえ、内容の要約を公表することとなります。教授会代議員会での審議結果については後日通知します。「やむを得ない理由」が無くなった場合、全文を公表することとなりますので、人文社会科学系大学院学務係まで連絡してください。

別紙

学位論文の体裁について

・**PDF 形式で提出すること。**
・用紙サイズは A4 判とし、和文又は英文で作成すること。（枚数・字数に制限・指定はなし）
・必ず「表紙→目次→本文→裏表紙（白紙）」の順で作成すること。
・表紙は以下の表紙例のとおり作成すること。
・目次・本文には必ずページ番号を付し、本文の文字サイズは 10.5 ポイントとすること。

表紙例

学　位　論　文　名
―　副　題　―

2027 年 3 月
新潟大学大学院
現代社会文化研究科
氏名　〇〇 〇〇

・専攻・在籍番号は記載せず、氏名は学務情報システムに登録されている（学生証と同一の）表記とすること。
・留学生はアルファベットの大文字・小文字の区別に注意すること。

表紙例

学位論文名
―副題―
二〇二七年三月
新潟大学大学院
現代社会文化研究科
氏名　〇〇 〇〇

学位論文の要旨の体裁について

・**Word 形式で提出すること。**
・用紙サイズは A4 判とし、和文又は英文で作成すること。
・枚数は 1～2 枚程度とし、字数は和文 2,000 字程度
　又は英文 750words 程度とすること。
・右記の例のとおり作成すること。

・専攻・在籍番号は記載せず、氏名は学務情報システムに登録されている（学生証と同一の）表記とすること。
・留学生はアルファベットの大文字・小文字の区別に注意すること。

学位論文名
―副題―

新潟大学大学院現代社会文化研究科
氏名　〇〇 〇〇

以下、本文・・・